

澁谷審議官によるブリーフィングの冒頭発言

日時：平成 26 年 5 月 16 日（金）18 時 25 分～

場所：合同庁舎 8 号館

15 日は首席交渉官会合の最終日であり、9 時から 13 時頃までやって解散した。解散の後には、例によって首席交渉官同士のバイの会談を行った。鶴岡首席交渉官は 5 か国の首席交渉官とバイ会談を行った。

昨日は、最初は金融サービスを行い、サクッと終わった。初日の SPS や労働と同じで、事務的に片付くもの、事務的だが議論が必要なもの、政治的な判断が必要なものと論点を 3 つに分ける作業をし、事務的に処理できそうなものは、ほぼ片付けたという状況にするという整理をした。その後、国有企業と知的財産の交渉チームが呼ばれ、それぞれ状況を聞いた。閣僚会合では、バリでも同じようなことやったが、現状と論点等を書いたステータスレポートを出し、そのテーマの議長国が報告をするということが、19 日の閣僚会合で想定される。国有企業と知的財産のチームからは、ものはまだできていないが、その準備状況等について説明があったようだ。また、環境のチームも呼ぼうとしたが、つかまらず、ヒアリングできなかったようだ。結論を言うと、シンガポールでは、現時点でのいわゆる難航 3 分野である国有企業、知的財産、環境については、閣僚会合でステータスレポートの説明がなされる、これがチェックインだという整理がされた。この 3 分野以外は、恐らく、分野毎でなく、全部まとめて 3 つのグループに分けた論点整理をされ、報告されるのではないかと聞いている。

昨日は、この他、首席交渉官同士でバイの会談があった。11、12 日にもバイ会談をやったが、それは今後の進め方などの意見交換だったようだ。昨日話したように、ほとんどの国とマーケットアクセスの事務方による交渉が続いているので、その進捗状況を鶴岡首席交渉官と他国の首席交渉官との間で確認し合ったという。マーケットアクセスの話が中心だったと聞いている。

ホーチミンでの首席交渉官会合は昨日で終わりだが、本日以降も、ワーキンググループが継続している。今日は、知的財産と投資・サービスの NCM、国有企業、原産地規則、マーケットアクセスのテキストのワーキンググループがある。明日は、投資・サービスの NCM と原産地規則である。これは、18 日もやるようだ。環境は昨日でワーキンググループが終わっているので、今日は恐らく、ステータスレポートなどを非公式にそれぞれの首席交渉官とシェアしているのではないかと聞いている。

首席交渉官会合を振り返ると、来週のチェックインにふさわしく、難航分野とそれよりは比較的まとまりつつある分野を分け、それぞれの形態で現状報告がなされるということだと思える。

シンガポール閣僚会合は、初日の午後はバイ会談にあてるが、全部はスケジュールが決まきれていない。直前までお互いの都合が流動的なので、日曜まで各国と調整を取り続けるだろう。2 日目のプレスカンファレンスの連絡はまだ来ていない。多分午後になるだろうということは、メディアへの案内にも書いてあったが、そういうことだろう。

(以上)